

## 略 歴 書

### (公表用)

(ふりがな) 氏 名	やなぎさわ たけし 柳澤 武
学歴・取得学位	1998年3月 九州大学法学部卒業 2000年3月 九州大学大学院法学研究科修士課程修了(法学修士) 2003年3月 九州大学大学院法学府博士後期課程単位取得退学 2004年3月 九州大学 学位取得 博士(法学)
職歴	2003年4月 九州大学大学院法学研究院 助手 2004年4月 名城大学法学部 講師 2007年4月 名城大学法学部 准教授 2014年4月 名城大学法学部 教授(現在に至る)
業績	<p>(著書、論文、判例評釈・翻訳等)</p> <p>柳澤武「年功型賃金と定年の合理性——日本の年功制度の法的意義を問い直す——」法律時報 95 卷 4 号 127 頁 (2023)</p> <p>柳澤武「業務命令——国鉄鹿児島自動車営業所事件」労働判例百選[第10版]50頁(有斐閣、2022)</p> <p>柳澤武「非常事態における休業手当と整理解雇——新型コロナウイルスによる影響を中心に」法学セミナー789号33頁(2020)</p> <p>柳澤武「人生100年時代の高年齢者雇用」ジュリスト 1524 号 90 頁 (2018)</p> <p>柳澤武「労働法上の権利行使に対する抑制と報復——不利益取扱いからハラスメント法理へ？」法律時報 89 卷 1 号 78 頁 (2017)</p> <p>柳澤武「高年齢者雇用の法政策——歴史と展望」日本労働研究雑誌 674 号 66 頁 (2016)</p> <p>Takeshi Yanagisawa, JAPAN: Industrial relations profile, Eurofound, European Industrial Relations Observatory On-Line (eiroline) (2014).</p> <p>柳澤武「辞職・合意解約と退職勧奨」「定年と継続雇用」野田進ほか編『解雇と退職の法務』83頁、133頁(商事法務、2012)</p> <p>柳澤武『雇用における年齢差別の法理』(成文堂、2006)</p> <p>(講演・口頭発表等、学会・社会活動)</p> <p>2011年6月 Cross-Connecting Citizen Movements in Japan: An Exploration in Legal Mobilization Methods and Results The Law and Society Association Annual Meeting 2011 (於 San Francisco, U.S.A.)</p> <p>2013年4月 愛知県労働局 労働関係紛争担当参与(現在に至る)</p> <p>2022年5月 日本労働法学会 企画委員(現在に至る)</p> <p>(実務実績[取扱業務等])</p> <p>なし</p>
プロフィール (URL)	<a href="https://researchmap.jp/tyanagisawa">https://researchmap.jp/tyanagisawa</a>

※ ご所属の事務所等の個人紹介ページに上記事項が記載されている場合には、プロフィール欄に当該ページの URL をご記入頂き、「プロフィール参照」と記載して頂ければ結構です。